

東北大学 コアファシリティ統括センター

現状と課題

研究設備の共用化推進

- テクニカルサポートセンター(TSC)の設置 (H20)
- ・設備サポートセンター整備事業(H27): キャンパ ス毎にサテライトを設置
- 研究機器相互利用ネットワーク導入実証プログラ ム (SHARE) (H29): 地域研究機関との連携強化

<課題>

- ・設備整備計画は部局提案に基づいており全学 の方向性と必ずしも一致しない
- 分散型キャンパス内共用は進んだが、全学的 共用体制の構築推進が必要
- 超高度先端設備のより多くの世界的な活用に は、共用体制強化が必要

技術職員の活躍促進

- 総合技術部の設置 (H21): 技術職員の全学的な 適正配置
- 6職群の設置 (H25): 技術毎に職群を設置、人事 管理、技術研修開始
- 総長研究支援技術賞の創設 (H28)
- 文部科学大臣表彰(研究支援當)受當(R2)

く課題>

- ・研究環境DX等の研修プログラムの再構築が
- ・研究者の研究パートナーとしてのスペシャリ スト育成計画が必要
- ・ジェネラリスト/マネージャーの育成、複線 キャリアパスの構築が必要

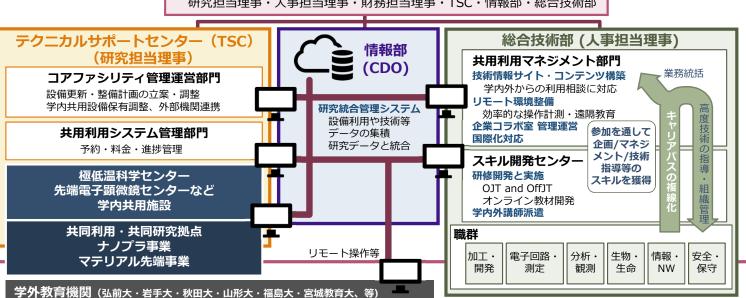
5年後の達成目標

~時代変革を捉え、総合知を先導する研究基盤構築エコシステムの開発~

コアファシリティ統括センター(CFC)

研究基盤整備戦略企画会議

研究担当理事・人事担当理事・財務担当理事・TSC・情報部・総合技術部



5年後の

理事3名をメンバーとする研究 基盤整備戦略企画会議により 全学ビジョンに沿った戦略的 研究設備の整備や技術職員の 配置を実施

設備・技術データの効率 的な収集、他の研究デー 夕と組み合わせた解析に よる研究設備の研究成果 への効果の解析と把握

研究設備のリモート接続に よる効率的な計測・遠隔教 育の実現による研究環境 DXの推進

技術職員のスキルアップ 環境充実、複線キャリア パスの構築による研究 パートナー人材の拡充

年次計画

主众取組 R3 **R4** R5 **R6 R7** 研究基盤マネジメント コアファシリティ統括センターの設置 技術職員の複線キャリアパス 設備、利用データの管理、技術・設備管理の人材育成体制の構築 技術・マネジメント研修プログラム プログラム開発 試行・検証 実施 技術情報サイト・コンテンツ 設計・開発 更新 運用 設備のリモート・スマート共用環境 整備・運用 運用拡大 設備統合管理システム 什様策定 構築 運用

公的研究機関(宮城県産技センター)、研究機関(大学連携研究設備ネットワーク)